

サクランボ特報 No.3

H31. 4.25 No.3
J A 中野市営農センター
J A 中野市サクランボ部会

2回分の防除を掲載しています

生育は、昨年よりも8日程度遅れている状況です。(平年並)

定期防除・管理作業は遅れないよう計画的に実施しましょう。また、乾燥状態が続く場合は、灌水を実施しましょう。

第3回 定期散布

散布時期	落花直後 (散布日の目安: 5月1日~7日)	散布日	5月	日
散布薬剤	水 100ℓ当り	散布量	ℓ	
	展着剤 (ハイテンパワー) 10ml			
	サムコルフロアブル10 40ml (収穫前日まで、3回以内)			
	ナリアWDG 50g (収穫前日まで、3回以内)			
散布量	10アール当り 400ℓ			
混用順	水 ⇒ 展着剤 ⇒ サムコル ⇒ ナリア (ナリアは少量の水に溶かしてから混用する)			
対象病害虫	ケムシ類、ハマキムシ類、灰星病、炭そ病、黒斑病、褐色せん孔病、幼果菌核病			

【注意事項】

- ① ショウジョウバエ類 発生園は、(劇) バイスロイドEWの4,000倍(収穫7日前まで、2回以内)を加用する。
(劇)・・・ご購入の際は印鑑が必要です
- ② 訪花昆虫保護のため、早朝に散布を実施する。(ミツバチを設置している場合は、引き上げ後に散布する)
- ③ ナリアWDGは、ぶどう・ピオーネ、洋梨・ルクチェ等に薬害を生じる恐れがあるので、飛散しないよう注意する。

第4回 定期散布

散布時期	5月中下旬 (散布日の目安: 5月15日~21日)	散布日	5月	日
散布薬剤	水 100ℓ当り	散布量	ℓ	
	オンリーワンフロアブル 50ml (収穫前日まで、5回)			
	アーデントフロアブル 25ml (収穫前日まで、2回)			
散布量	10アール当り 500ℓ			
混用順	水 ⇒ オンリーワン ⇒ アーデント			
対象病害虫	灰星病、炭そ病、オウトウショウジョウバエ			

【注意事項】

- ① 今回から収穫終了後まで展着剤は使用しない。
- ② 灰星病(黒斑病)発生園は、ベルコートフロアブルの2,000倍(収穫7日前、3回以内)を加用する。

次ページもご覧ください

●花器異常が散見されています

- (1) 開花の早い品種、生育の早い花を中心に花器異常（貧弱花、めしべ欠落）が確認されています。
- (2) 開花状況をよく観察し、健全な花を中心に授粉を行ない結実確保に努めましょう。
- (3) 枝によって着果量が不足する場合は、樹全体で着果量を確保しましょう。

●葉面散布について

樹勢衰弱や葉色が薄い場合は、葉面散布を実施し、健全な葉の育成と光合成、初期肥大促進に努めましょう。

*葉面散布使用例・・・定期散布時に農薬と混用が可能です。（混用は最後です）

資材名	成分量	目的	倍率	使用時期	規格、単価	100ℓ 散布 単価
オルガミンDA	窒素全量 0.11%	光合成促進 品質向上	1,000 倍	第3～4回目の 定期散布時に混用	1ℓ 3,666 円	367 円
	水溶性苦土 4%				5ℓ 15,552 円	311 円
	水溶性ほう素 0.7%				10ℓ 29,160 円	292 円
	水溶性加里 0.11%					
	水溶性マンガン 0.25%					
ビビットグリーン	水溶性苦土 4%	苦土補給 葉の健全化 光合成促進	500 倍	第3～4回目の 定期散布時に混用	1.2kg 1,405 円 5kg 4,310 円	234 円 172 円
液体硫酸マンガン	水溶性マンガン 13.5%	マンガン補給	200 倍	第3～4回目の 定期散布時に混用	1kg 1,023 円	512 円
グリーンデイズ	水溶性苦土 16% 水溶性マンガン 9.0% 水溶性ほう素 2.5%	苦土等補給 葉の健全化 品質向上他	1,000 倍	第3～4回目の 定期散布時に混用	1kg 1,503 円	150 円
ビビットレッド	リン酸 9%、加里 7%	果実品質向上	500 倍	第4～5回目の 定期散布時に混用	1.2kg 1,396 円 5kg 4,239 円	232 円 169 円

●摘果

- ① 時期：生理落果終了後。大豆大の頃。（高砂・香夏錦・紅秀峰など）
- ② 方法：1花束状短果枝当り3～4果を残す。残す果実は、縦長で肥大良好な果実、果柄が長い果実。
- ③ 注意：結実過多の樹を実施する。花器異常により、着果不足が心配される場合は、摘果を見合わせ、樹全体で着果量を確保する。

●かん水

- ① 時期：落花直後の肥大初期。20^ミ程度。
- ② 注意：果実の地色が抜け始めると裂果の恐れがあるため、かん水量を控えめにする。
結実量が少ない樹や強樹勢の場合は、裂果しやすいため、かん水量を控えめにする。

●新梢管理

- ① 時期：満開後3～4週間頃。（5月中旬）
- ② 方法：5～6芽程度残して摘芯する。（葉枚数で4～5枚）

次回特報発行予定：5/17
内容：第5回定期散布、今後の管理作業